

2023年8月6日

## 2023年度年次大会・CPD講演会実施報告

公益社団法人日本技術士会埼玉県支部

1. 開催日時：2023年7月29日（土） 13:30～18:50
2. 開催場所：新都心ビジネス交流プラザ4階B/D会議室  
〒338-0001 さいたま市中央区上落合 2-3-2(TEL048-830-3908)
3. 参加人数：49名（講師及び随行者計3名、協賛団体参加者5名、  
千葉県支部副支部長1名、神奈川県支部副支部長1名、事務職員1名含む）

### 4. 実施記録

#### 4.1 第一部 年次大会（13:30～15:35） 司会：村山肇幹事

##### 4.1-1 開会挨拶及び埼玉県支部方針説明

若林直樹支部長から挨拶があり、支部創立10周年記念事業を成し遂げ、新型コロナウイルス感染症が収束しないなか精力的な活動を行ったので支部の知名度が向上していると述べられた。続いて、支部の前年度活動実績と今年度の活動方針が説明された。その中で国の重要施策であるデジタル化と脱炭素社会実現に向けた支部活動の活発化と知名度向上のため、多数の会員、特に若い会員の参加を得て「技術の力で地域の発展に貢献」を基本に、未来、次の10年に向かって諸活動を進めると述べられた。

##### 4.1-2 委員会報告と新組織の紹介

1)委員会毎に、前年度活動実績と今年度（2023年度）計画が報告された。

- ・総務企画委員会：白岩信裕委員長から前年度実績と今年度計画、広報活動の推進について。
- ・支部会計報告：菅原宏会計担当から前年度の支部会計実績と今年度予算について。
- ・CPD委員会：増古恒夫委員長からCPD行事の前年度開催実績と今年度開催計画について。
- ・科学技術振興委員会：中田よしみ委員長から理科実験教室などの開催状況と予定について。
- ・地域産業支援委員会：近藤孝委員長から“社会貢献”“地域産業支援”“技術士の活用促進”の活動の3本柱を基にした実績と計画について。
- ・地域活性化委員会：若林直樹委員長から東部・西部・北部地域の小委員会の実績と計画について。

2)若林直樹支部長から今年度の支部新組織が説明され、改選された新幹事から自己紹介がなされた。

石田正雄新支部長から就任挨拶として、「技術士の存在意義は社会貢献にあると思っています。我々はこの貢献度を最大化することを目指して活動したい。そして従来の各委員会活動に加え、社会への貢献度を高めるために広報活動と防災活動に注力したい」との抱負が述べられた。

3)報告後、質疑応答（フリーディスカッション）がなされた。

インターネットに繋がるHPの活用、技術士補や修習技術者の技術士資格取得支援体制の充実、支部HPの会員ページ作成に関し、意見、要望がなされた。

##### 4)来賓挨拶

千葉県支部の山本陽一副支部長と神奈川県支部の嶋田弘僧副支部長から挨拶をいただき、関東支部の共通課題への連携した取組の必要性が示された。

## 4.2 第二部 CPD特別講演会（15:50～16:55） 司会：村山肇幹事

### 4.2-1 講演：「XR・メタバースが切り拓くフロンティア」

講師：（株）NTTコノキュー 取締役 岩村幹生氏

XRの技術とインパクト、NTT QONONOQの会社紹介、XRによる新しいコミュニケーション世界について話され、後半では社会課題を深掘りした話題を紹介された。

#### 1)XRの技術とインパクト

(1)XRの種類（VR：仮想現実、AR：拡張現実、MR：複合現実）、(2)MRの技術（自己位置推定技術、空間構造認識技術）、(3)広域でのMRの実現方法、(4)ディスプレイデバイスの評価、(5)XRの技術的インパクト（常設型360° プライベートディスプレイ、デジタルツイン、ウェアラブルAI）、(6)リアル経済の減価償却からXR世界の増加蓄積への移行、(7)アバターによる人間能力の編集・分人化、(8)複数現場と複数能力の縦横無人な接続、について事例を交え解説された。

#### 2)NTTコノキューの会社紹介

2022年10月1日に事業開始したNTTドコモの100%子会社で、メタバース、デジタルツイン、XRデバイスを主な業務としている。メタバースとしてXR WorldとMatrix Streamを、デジタルツインとしてスマホ系アプリのXR Cityを事業化し、デバイス分野でシャープとの合併会社設立を説明された。

#### 3)なぜXRなのか、XRで世界はどうなるのか

世界は物質経済の限界、金融経済の限界、環境破壊、格差問題から脱却できないでいる。これは人間の欲望が原因で、欲望を有限な物質世界に求めると地球が破綻する。このため、無限の拡張性を持つバーチャリティの世界に向かう必要がある。大半の人はほとんどのことを視聴覚だけで行っており視聴覚情報を正しく伝送できれば社会経済活動は成立するので、人間の欲求をバーチャルで吸収したい。

世の中の仕事の70%は必須ではなく、肉体労働や頭脳労働ではない感情労働が多く人の心を疲弊させ、アテンションエコノミーやエコーチェンバーなどにより思考力の阻害や民主主義の危機を招いている。このような世の中を良くするためにはコミュニケーションが欠かせず、革新的技術（XR）を使って産業を興し、人の生き甲斐を作り、社会の人間関係を育み健全な人間性を支えていきたいと述べられた。

#### 4) 質疑応答

時間がなく、大会アンケートに質問を記入し、後日参加者へ回答を配信することになった。

### 4.2-2 閉会挨拶

近藤孝副支部長から講演に対し謝辞が述べられ、年次大会の閉会が告げられた。

## 4.3 懇親交流会（17:20～18:50） 司会：中田よしみ幹事

年次大会に出席された多くの方が参加され、懇親を深められた。

### 【大会の開催状況】



支部長：若林直樹



新支部長：石田正雄



講演者：岩村幹生氏



司会者年次大会：村山肇



閉会挨拶：近藤孝



司会者懇親交流会：中田よしみ



会場全景



CPD 講演全景



集合写真

(写真：地域活性化・CPD委員 近藤訓、記録：総務企画委員・地域産業支援委員 出森公人)